



ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区広報誌
第7号

2015年12月1日
組織拡充委員会

指導者研究セミナー開催

指導者研究セミナーが11月29日(日)、西荻地域区民センター・勤労福祉会館で隊と団の指導者を対象として開催され、32名の指導者が参加しました。

セミナーは開会セレモニーのあと、杉並区保健福祉部児童青少年課の伊藤課長より「杉並区の青少年施策について」の基調講演、レゴブロックを使った自由な発想を試みる演習に続き、佐藤地区コミッショナーより「あるべき姿のスカウティングを提供するために」をテーマに基調講演があり、隊相互の活動の協力で個々の隊の活性化を図ってほしい、との話がありました。

昼食後は、隊合同のプログラム展開のメリットとデメリットについて、部門別に分かれて討議し、隊合同のプログラムを推進するために必要な心構えなどを、部門ごとに発表しました。



開会セレモニーの鈴木地区委員長挨拶、参加のメンバー



参加者写真



伊藤課長の講演



佐藤地区コミの講演



団部門の討議



ビーバー部門の討議



カブ部門の討議



ボーイ部門の討議



ボーイ部門の発表



会場の全景



カブ部門の発表



ビーバー部門の発表



高橋協議会長の講評

すぎなみ舞祭で奉仕

10月18日（日）、済美山運動広場（堀ノ内1-15）で開催された第8回すぎなみ舞祭で、あすなろ地区の各団は、参加チームの休憩するテントの設営、交通整理、閉会後のテントの撤営などの奉仕を行いました。

会場の3ヵ所のステージでは、多くのチームがグランプリ、大賞をめざし、日頃の練習の成果を發揮して、各種のダンスを音楽に合わせて元気よく披露しました。

また、あすなろ地区では、すぎなみ舞祭りの協賛者として「すぎなみ舞祭ガイドブック」に、今夏の世界ジャンボリーの様子を伝える写真とともに、体験・入団の申込み、問い合わせ先を記した広告を行いました。



BSAキャンプの準備会を開催

あすなる地区の各団でBSA秋季パトロール・オー・リーに参加するスカウトのため、BSAキャンプの準備会が10月12日（日）、あんさんぶる萩窪で開催されました。

準備会ではBSAキャンプの概要の説明やゲームなどが行われ、班集会を行いました。



BSAパトロール・オー・リーに参加

10月23日（金）～25日（日）、BSA秋季パトロール・オー・リー2015が多摩市と稲城市に広がる在日米空軍多摩レクリエーションセンターで開催され、あすなる地区では6名構成の班が2個班、リーダー6名が参加しました。

2日目のゲームでは、あすなる地区はアメリカのスカウトとともに、的の穴にラクビーボールを投げ入れる「ラクビー トス」を担当し、楽しみました。



朝食前の班会議



班旗のデザインを相談



フェニックス班



パンダ班



ラクビーボールを投げ入れ



米国スカウトと協力



的のゴールは穴だらけ



2日目 夕食



3日目 朝食



パトロール・オー・リーに参加して

参加隊隊長（杉並8団 BS隊長）

儘田哲夫

10月23日（金）から25日（日）までの3日間、アメリカ合衆国空軍の広大な多摩レクリエーションセンターにて、200名以上の日米スカウトが集合してパトロール・オー・リーが開催された。この行事は東京連盟とアメリカ極東連盟のスカウトが2泊3日の小キャンプを通して、交流を図り友情を育むことを目的に毎年実施されている。



あすなる地区からはBSスカウト12名、VSスカウト1名、リーダー6名の合計19名が参加した。

アメリカ隊のスカウト6名があすなる隊に参加し、9名ずつの混成班2班を構成、24日のフィールドゲームプログラムに臨んだ。日米混成班は全体で24隊となり、ゲームは競技毎に異なる4隊で6競技を行い、24隊中1～3位までが各競技の優秀班として、夜の大営火で表彰された。あすなるの2隊は残念ながら、入賞できなかったが、班員同士協力し合って競技を楽しんでいた。

一方、あすなる地区リーダーは6つのフィールドゲームの一つ「ラグビー トス」を担当し、アメリカ隊リーダーと協力して準備、実施した。競技はパネルに開けた大中小の3個の穴に向けてラグビーボールを各班が30回投げ、通過したボールの点数を競うもので、各班とも失敗したスカウトを非難することなく、励まし合って声援し、特に中小の穴を通して高得点を得た際には大歓声を上げ、競技は大いに盛り上がった。

競技終了後、大営火の前に、同じキャンプサイト内の日米4隊がそれぞれ食事を持ち寄る夕食会「ポットラック」が行われ、昼間のゲームですっかり仲良くなったスカウト達は、自然と班単位でテーブルを囲み、日本語・英語を交えて大声で雑談し、楽しい食事会となった。あすなる隊は杉並12団の菊池副長、杉並3団の内田副長が頑張っており、ちゃんこ鍋と稲荷寿司を提供し、アメリカ人にも大好評であった。

大営火後も、スカウト達はテントに戻らず、火の回りに集まって、各自が枯れ枝に刺したマシュマロを炙って、それをクラッカーの間にチョコレートと共に挟んだ甘いアメリカ風デザートをいくつも食べながら、夜が更けるのも忘れて交流を続けていた。今年の世界ジャンボリーも開催されたが、こうした外国隊と共同で行う活動・訓練を通して、スカウト達の国際感覚が自然に養われ、彼らの外国人や外国語に対する興味が強まるのを目のあたりにした一日であった。

最終25日は地区幹事隊長の杉並6団古川隊長指揮のもと、早朝より撤営を開始し、午前10時過ぎに多摩センターを後にして、南多摩駅に向かいました。主に写真を担当した杉並12団の小平隊長、日米各隊との交流やゲームの進行に貢献した中野8団の沼上志帆リーダー、中野5団VSの寺崎君などの協力で、今年のパトロール・オー・リーは無事に終了致しました。

あすなる地区で なかのギャラリーに展示

あすなる地区では10月1日より30日の1ヵ月間、中野駅西口のガード下ギャラリーにて、あすなる地区の広報のため、展示を行いました。

スカウト活動は年代別にビーバーからローバーまで分かれていることを大きな手書きポスターで展示するとともに、中野、杉並の地図上に各団の所在地と連絡先を表示しました。

また11月8日（日）に中野四季の森公園で開催する予定の「なかのまちめぐり、みんなであそぼう！ ワクワクランド」のポスターも展示しました。

ギャラリーの前は駅前の人通りも多いことから、足をとめて見ている方もおり、あすなる地区の活動を多くの方に知っていただき、広報の効果を上げることができました。



ローバースカウト100キロハイク開催

11月14日（土）14時に芝の増上寺をスタートして、都内の100kmのコースを24時間以内に歩く、第49回ローバースカウト100キロハイクが開催されました。

コースは港区芝増上寺→江戸川区行船公園 11.5km→葛飾区葛西城址公園 21.8km→板橋区見次公園 39.4km→練馬区さくら運動公園 49.4km→文京区福寿幼稚園 65.9km→世田谷区役所 79.4km→大田区池上本門寺 90.0km→港区芝増上寺101.1kmで、今回は332人が参加し、完歩したのは135人で、参加者全体の40.6%でした。

あすなる地区では中野8団の沼上志帆さん、杉並12団の亀井洋平さん、高木嘉人さん、杉並13団の小原翔さんが参加しました。

沼上さんと小原さんは、CP4のさくら運動公園の通過締切時間が15日2:00のところ、到着が2:03と僅か3分遅れのためリタイアし、亀井さんはCP5の福寿幼稚園の通過締切時間が15日5:30のところ、到着が6:08でリタイア、また高木さんはCP7の池上本門寺の通過締切時間が15日11:30のところ、到着が12:01でリタイアとなっています。

写真は開会式の様子です。



初めての100キロハイク

杉並12団ローバー隊

亀井洋平

私は、11月の14日と15日の2日間、東京連盟第49回ローバー100キロハイクに初めて参加しました。

年に1回のローバー隊の行事でしたので、ローバーのうちに参加できたらいいなと思い、申し込みをしました。初めてでしたので、「完歩できたらいいな…」とワクワクしていましたが、その反面、本当にできるのかと不安な気持ちもありました。

コースは港区の芝増上寺からスタートし、都内に設置されている7つのポイントを24時間以内に巡って芝増上寺に戻り、100キロ歩くという行程です。私は時間の空いている日にホームページから地図を印刷し、どの交差点で曲がるのか、どの道を歩くのかと、迷わないようにルートを把握し、また体力づくりのために歩く練習もしました。

しかし、数日前に発表された天気予報が雨であったことに気づき、「降らないでくれ…」と祈っていましたが、当日は残念ながら雨となってしまいました。

そして、雨の中の100キロハイクが始まりました。

私は、ここまで来て棄権するわけにはいかないと強い意志を持ち、完歩目指してハイクしました。最初は興奮しているのか、ペースを上げて歩きました。しかし、スタートから11キロ地点の第1チェックポイントを過ぎ、日が暮れた頃から次第に雨足が強まっていき、雨に濡れてしまったことにより歩く気力が落ちてきました。

さらに、第4ポイントの50キロ地点を過ぎた頃には歩けなくなるぐらい足が疲れてしまい、最終的には65キロ地点の第5ポイントでタイムアウトしたため、リタイアになりました。

私は、100キロ歩けなかったのは正直悔しいと思いました。しかし初めての参加にしては、雨の中で65キロ歩いたのはとても達成感があります。そして、また来年も100キロハイクに参加して、完歩するように頑張っていきます。

最後になりますが、応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

次回の完歩をめざして 杉並12団ローバー隊 高木嘉人

今回の100kmハイクの感想を一言で表すならば「悔しい」の一言です。

私は今回100kmハイクに参加し、90km地点にある最終チェックポイントの池上本門寺で時間切れとなり、リタイアとなりました。雨の中という状況を考えれば決して悪くない結果だと、リタイアしたその時は思いました。でも時間を経してみると、「悔しい」という思いがこみ上げました。

確かに90kmも歩くことはできましたが、残りの10kmを歩く余力を、精神面でも身体的な面でも残すことが出来ていなかった自分が、とても情けなかったです。このため、次回の第50回の節目を迎えるローバー100kmハイクに参加して、完歩という目標を成し遂げたいと思います。

また今回の100kmハイクでは人の優しさというものをとても感じました。チェックポイントを出発するときに「頑張って！」と言ってもらい、その言葉は歩くための活力となりました。そして12団や各団の方からもたくさんの応援をいただき、ハイク中の心の支えとなりました。

応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。



東京連盟上級救命リフレッシュ講習会が開催

11月23日（月・祝）、東京連盟の上級救命リフレッシュ講習会が神田消防署三崎町出張所で開催されました。

上級救命リフレッシュ講習会は、上級救命講習の認定取得者が3年以内に再度受講する講習会で、知識の確認と実技の評価が実施されました。

当日の講習会参加者は48名で、あすなろ地区から岡村實（杉並6団）、牛山恵文（杉並11団）、飯沼利雄（杉並12団）、武藤八朗（中野3団）、中村俊幸（中野8団）の5名が受講しました。

講習会は、16体のダミー人形を使った心肺蘇生・AED（自動体外式除細動器）・気道異物除去などの救命処置、止血法・三角巾の応急手当などで、最後に効果測定試験が行われ、無事に終了しました。

隼スカウト章、菊スカウト章の受章

11月5日（木）、中野ZEROで開催されたラウンドテーブルの開会に先立ち、鈴木地区委員長より菊スカウト章が中野3団ボーイ隊の横張 隼(はやと)さんと、横張 翔(かける)さんに、隼スカウト章が杉並12団ベンチャー隊の佐藤成(じょう)さんに伝達されました。



また、11月26日（木）、西荻地域区民センター・勤労福祉会館で開催された地区委員会では、開会に先立って、鈴木地区委員長より中野8団ベンチャー隊の山田功大(こうだい)さんに隼スカウト章が伝達されました。



編集後記

11月8日（日）に中野四季の森公園で開催予定だった「なかのまちめぐり、みんなであそぼう！ワクワクランド」は残念ながら雨で中止となりましたが、来年の「なかのまちめぐり」でもよろしくお祈りします。